

平成 28 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 グ リ ー ン ペ プ タ イ ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 永 井 健 一
(コード番号：4594 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 酒 井 輝 彦
(TEL.03-5840-7697)

株式会社アドバンスト・イミュセラピーへの出資手続き完了に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 21 日に開示いたしました「株式会社アドバンスト・イミュセラピーの第三者割当増資引受（子会社化）に関するお知らせ」において、株式会社アドバンスト・イミュセラピーが実施する第三者割当増資を引き受け、子会社化することをお知らせしておりましたが、この度出資手続きが完了いたしましたのでお知らせいたします。

1. 子会社の概要

(1) 名称	株式会社アドバンスト・イミュセラピー
(2) 所在地	東京都千代田区麴町二丁目 2 番地 4
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 永井 健一
(4) 事業内容	T-iPS 細胞を用いたがん免疫療法製剤の開発
(5) 設立年月日	平成 28 年 2 月 3 日
(6) 出資比率	当社約 67%

2. 業績に与える影響

本件による平成 29 年 3 月期の業績に与える影響につきましては、軽微であります。

以上

【株式会社アドバンスト・イミュセラピーについて】

東京大学 医科学研究所 中内啓光研究室の研究成果に基づくがんやウイルスに対するがん免疫療法を開発する創薬ベンチャーです。中内教授は特定の抗原を認識する T 細胞から iPS 細胞を樹立し、そこから元と同じ抗原特異性を有する、機能的に若返った T 細胞を高効率で誘導することに世界で初めて成功しました (Cell Stem Cell, 2013)。これら一連の技術をもとに 2 件の国際特許出願 (PCT/JP2011/052260、PCT/JP2013/064291) を行い、そのうちの 1 件は米国で成立しています (米国特許 9206394) (出願人：東京大学)。さらに細胞死を誘導できる自殺遺伝子 (誘導型 Caspase9) を組み込むことによって iPS 細

胞由来 T 細胞療法の安全性を高めることにも成功しています (Stem Cell Reports, 2015)。これらの研究成果を踏まえ、東京大学よりかかる特許の事業化予定地域における独占的実施権を取得することで合意し、抗原特異的若返り T 細胞をウイルス関連腫瘍の治療に用いるために、臨床試験の準備を進めています。

【株式会社グリーンペプチドについて】

人が体の中に備え持つ免疫の力を利用してがんを殺傷する「がん免疫療法」の研究・開発を行う創薬ベンチャーです。がん免疫療法は、手術、放射線療法、化学療法に次ぐ、がんの「第 4 の治療法」として期待されています。現在臨床試験を実施している 2 本のがんペプチドワクチン（前立腺がんを対象とする ITK-1、メラノーマ（悪性黒色腫）を対象とする GRN-1201）に軸足を置きながら、日本発の創薬コンセプトを世界へ発信する新規がん免疫療法を創製し、がん治療の革新に貢献して行きたいと考えています。